

[友朋会広報誌]  
vol.65

# 風だより



## Contents

- 02  
↳ 第2回湯らっくすコンサートへの道
- 03  
04 P'sユーザーとの親睦会報告
- 05 「鹿島・藤津地域リハネットワーク研究会」を開催して
- 06 地域連携室通信・友朋会理念
- 07 ふれあい看護体験開催・新任医師の紹介
- 08  
↳ 外来患者満足度調査の結果
- 09
- 10 診療科の紹介及び診療担当医師一覧表  
患者さまの権利宣言（一般科）（精神科）

## 第2回湯らっくすコンサートへの道

文：富松 眞之

9月20日、敬老の日の祝日の朝。ばらばらばらっと外から音が聞こえて目を覚ました。「あ、雨？」今年は無常気象で、連日猛暑、残暑のまっただ中で油断していました。まさか雨が降るとは…。今日は嬉野市体育館で『湯らっくすコンサート』が行われる日です。この日のために、みんなとってもがんばってきました。

さかのぼれば、一昨年秋頃のこと。嬉野町内で開催されているアマチュアのYOU音ライブに病院職員バンドで出演した時、和多屋別荘の松元さんから呼び止められました。「今度、障がい者と一般の方が一緒に出演するコンサートを企画しているんですが、病院としても是非出てくれませんか。」と言われました。第1回目の『湯らっくすコンサート』は昨年8月に行われ、病院職員バンドで出演しました。そのコンサートでは他の病院から患者さんのコーラスなども出演されていて、来年はうちの病院からも患者さんと職員で出れたらいいなあと漠然と思っていました。

今年1月、精神科デイケア担当OT(作業療法士)の小松さんと話している時、音楽療法でもっとみんなが元気になれるようなことがないかと聞き、ふたつ返事で協力することを約束しました。私は、高校時代から趣味でドラムをやっており、打楽器でラテンリズムの集団ができないかと考えていました。それで、隔週で精神科デイケアの1時間のセッションをOTと担当しました。でも私の考えは“甘かった!”。だいたいリズムを人に教えたことなんてないし、実は私、音符読めません(えーっ!)。それで音楽の集団療法を担当しようなんて、ゴメンナサイ。

でも、“とにかくやってみよう”ということで、何となくそれぞれメンバーの担当打楽器が決まり、ひとつのリズムから別のリズムを重ねて行って、「結構おもしろいね」ってことになってきました。複雑なリズムはきついで、できるだけシンプルに。でも、あくまでも『療法』です。みなさんの体調や持続力、集中力など気を払わなくてははいけません。つい、私だけが熱中しすぎて、みんなとよ〜んと疲れてしまう時もありました。少しずつまとまりが出てきて、バンド名を付けようということになり、「ハッピーフィールド」と決定。ハッピー(嬉しい)フィールド(野原)そう、『嬉野』です。9月の湯らっくすの出演が決定し、病院職員バンドとの練習もしました。ちなみに職員バンド名は「ダブルムーン」友朋会の“朋”の字です。時間の制約もあり、たった2回の練習でした。

とうとう当日(初めの文章へ)。サングラスを掛けたり、ちょっとおしゃれなお洋服の方など、みんな決めてきましたねえ。楽器の運び出しの時はもう雨もすっかりやんでました。広い会場から控え室に入り、そこには他の出演者もいて、やや緊張。早めに来たのでリハもできました。我ら友朋会は7番目。山口修さんのギター演奏、警察音楽隊などに続き、人間ビートボックスのYABUKINGさんは本当にすばらしく大盛り上がりでした。私もお手伝いをしているIKADA JAPANは視覚障がい者で、ギター、キーボードを弾きながら歌のハーモニーを聴かせました。





そして、友朋会の番。1曲目はハッピーフィールドだけの演奏で「この木なんの木」。  
さあみなさん、こっち見て下さいね(見てないとリズムがずれますよー)。1、2、3、ハイ! 特に大きなミスはなく良かったです。次がダブルムーンとのコラボ曲「風になりたい」。トライアングル、シンバル類が入り、

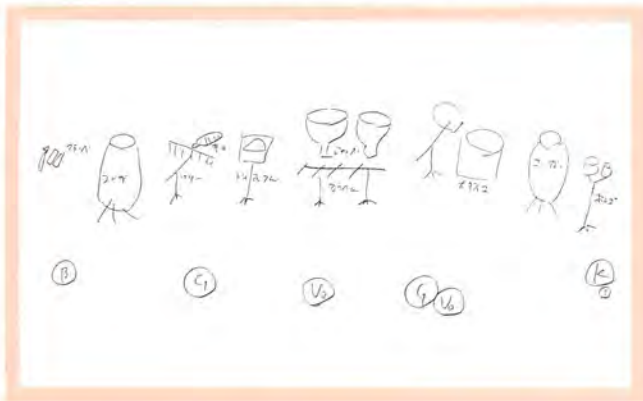


コンガ、ジャンベが入ります。ギター(阿部、南くん)、ボーカル(三原さん)、ベース(森くん)がかぶさってきます。ウーン、いいの、いいの、ちょっとずれても大丈夫。あつという間に終了。一同、礼!(拍手)

終わってステージ横で「おつかれさまでしたー」みんなで拍手しました。司会の方が「皆さんの一生懸命演奏されている姿に涙が出ました」と言ってくれて、大変嬉しかったです。お休み中の以前担当のOTさんが見に来てくれていて「みんなが成長していたことに感動しました」と言ってくれたそうです。メンバーは、「あんなに練習して、何かすぐ終わってしまったですね。」と言われていました。でも、みんなの顔は笑顔で、自信に満ちて見えました。達成感や喜びはじわじわとくるものです。

これからも音楽療法のお手伝いは続けて行きたいと思います。私もいろんな経験をさせていただき、あらためて、患者さんのこと、疾患のこと、社会復帰のことを考えさせられました。

『湯らっくすコンサート』にご招待いただいた松元さんありがとうございました。コンサートスタッフやデイケアスタッフ、ダブルムーンのメンバーも休日返上ありがとうございました。見に来ていただいた、デイケアのメンバー、何よりもハッピーフィールドのメンバーのみなさん、ありがとうございました。



<湯らっくすコンサートとは>



佐賀嬉野バリアフリーツアーセンターは、佐賀県、嬉野市の支援を受け「人にやさしい街づくり」をモットーに公共施設や旅館、ホテルのバリアフリー化の調査促進を図っています。その音楽イベントとして、嬉野市共催、教育委員会協賛、佐賀県・長崎県音楽連盟、各テレビ局後援で行われました。様々な障がいをお持ちの方々だけでなく、プロの演奏家や地元で活躍中のアマチュアの方々が一同に会し、垣根を越えてお客様と交流を深めるコンサートです。今回2回目目で16団体、92人が出演。来場者600人。平成22年9月20日嬉野市体育館(9月19日プレコンサート) ゲスト:山口修(ギター)OMURA室内合奏団、東京都交響楽団



# P'sユーザーとの親睦会報告

文：谷口研一朗

2005年5月から始まったP'sプロジェクト。その特徴の一つであるユーザーサービスの一環として、地域生活支援科を中心に定期的にユーザー登録者との親睦会を行っています。

ユーザー登録制度とは、従来のサービスモデルでは十分な支援が困難であると判断された当事者に対して行われるもので、ACTに代表される重症精神障害者への有効な支援方法です。これまで親睦会では、広川原キャンプ場での夏季バーベキュー、精神科デイケアセンターをお借りした鍋会、紫陽花見学バスレクを実施しましたが、今回は平成22年9月12日に行われたバーベキューについてレポートします。

例年、夏に嬉野町の広川原キャンプ場で行っていたバーベキューですが、今年は場所を白石町の有明スカイパークに移して実施しました。ここは今回バーベキューを行った研修棟のほか、室内温水プールや多目的ホール、多目的グラウンドを備えた素晴らしい



場所でした。

参加者は当事者9名、スタッフ7名で、当日は送迎、買い物、現地のセッティングを皆で分担して行いました。途中、雨が降り出した時間帯もありましたが、屋根付のテラスだったので問題なし！メニューはちょっと贅沢して準備した和牛、シャウエッセン、鶏手羽先の炭火焼きの他、豚バラと野菜の炒め物、細麺焼きそばポン酢風味、皆でにぎったおにぎりです。



まずは「キリンフリー」で乾杯し、和やかに親睦会が始まりました。さすがに和牛は早々になくなりましたが、十分な量でみんな満足できたようです。最後はまたみんな協力して片付け、次回の親睦会を楽しみにしながら帰路に着きました。

病院内で医療従事者と当事者として接するときと比べて、多少なりともリラックスし、「同じ地域で暮らす仲間」という感覚を味わってもらえたのであれば幸いです。





# 「鹿島・藤津地域リハネットワーク研究会」を開催して

鹿島・藤津地域リハネットワーク研究会  
(事務局)理学療法科 江頭正樹

平成22年9月8日に、鹿島市「エイブル」において第6回目の研究会を開催しました。今回のメインテーマは「精神障害を有する高齢者へのプラン」で、4名の方に講演をお願いしました。精神疾患をメインテーマに取り上げた事は初めてでしたが、287名(内、友朋会143名)と過去最高ではないかと思われる参加があり、企画側としても「ヨッシャー!」という感じでした。

まずは当院精神科医師・谷口先生より「P'sプロジェクト活動」について、背景や理念、基本コンセプトを軸に、当院の退院支援部門および地域生活支援部門の活動と両者を繋ぐ地域生活支援科の役割についてご紹介頂き、両部門の連携の重要性や懸け橋となる地域生活支援科の重要性が良くわかりました。

2人目の当院医療福祉課・三根さんからは「精神障害者が利用できる社会資源」について、自立支援法の概要やサービス利用までの流れ、対象となる主なサービス(居宅介護、共同生活介護、自立訓練、共同生活援助、就労移行支援、就労継続支援)についてご紹介頂き、介護保険サービスに類似している点が多く理解しやすい内容でした。

3人目の当院精神保健福祉士・富岡さんからは「訪問支援によるサービス提供の実際」という題で、P'sユーザー登録されている2事例に対し、経済的サービスに関する支援や日常生活に関する支援、買い物や受診への支援、危機介入などを説明して頂き、精神疾患に身体疾患が加わることでの支援の難しさを感じました。

4人目は養護老人ホーム済昭園よりケアワーカー・宮崎さんから2事例の紹介を頂き、現場の苦労が垣間見えました。

全てを通して再認識した事は、谷口先生のスライドの中にあつた“援助者のスキルアップが、退院できる対象者、地域で支えられる対象者を増やす”です。身体障害を有する方々への対応も同じことが言えると思います。身体面のみならず精神面へのサポートが出来るように今後も自己研鑽に努めたいと思います。

4名の講師の方々にはお忙しい中に急なお願いをしましたが、ご協力頂きまして誠にありがとうございました。

最後に本研究会の歴史について説明します。元々は2つの研究会・研修会から始まりました。1つは平成11年11月に発足した「嬉野地域リハビリテーション研究会」、もう1つが平成14年3月に発足した「鹿島・藤津地域リハビリテーション研修会」です。こちらは平成18年4月に「鹿島・嬉野・太良ケアネットワーク研究会」と改名した後、平成21年4月に合併し本研究会が新たにスタートしました。長年勤務されている職員の方には聞き覚えのある名称があるかもしれません。リニューアルした本研究会も皆様のニーズに応えられるようなテーマを選定し活動していきたいと考えておりますので、多数の方々をご参加下さいますようよろしくお願い致します。



# 地域連携室通信

文：廣瀬千鶴 山崎二美

日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。今回は、地域連携室主催で9月4日(土)に開催しました第2回嬉野温泉病院健康教室について報告させていただきます。

今回は内野・内野山地区区長の一ノ瀬様や内野老人クラブの皆様にもご協力いただき、内野生活研修センター(内野公民館)において、老人クラブの行事の一部として開催させていただきました。当日は、内野・内野山地区より35名の参加をいただき「ものわすれ予防」をテーマに健康教室を行いました。

最初に理学療法士の山下より認知症予防体操として上肢左右拮抗運動の紹介がなされました。参加者の方々は真剣に取り組み、失敗すると笑いがこぼれるなど、笑顔に包まれた和やかな雰囲気での健康教室開始となりました。

本題の「ものわすれ予防」については、看護師長の早田よりプロジェクターを使用しての講話となりました。高齢の方だけでなく、一般の方の参加もあり、自分自身のことだけではなく周囲の方をサポートする関わりについても話をされました。参加者の方々は、集中して話を聞かれており、メモをとられている方も多く、関心の高さが見受けられました。講話の途中には、参加者の方々とやり取りもあり、退屈しない楽しめる講話となりました。

今後の健康教室開催に関して特に要望等はありませんでしたが、個別での聴き取りに対しては「わかりやすかった」、「ためになった」などの意見を頂くことができました。

以上のように第2回健康教室は皆様にご協力いただき無事に終了することが出来ました。今後も地域のニーズに合った情報提供や意見交換が出来る場になるよう健康教室の企画をしていきたいと思っております。

健康教室へのご意見・ご要望がございましたら精神科地域連携室へご連絡下さい。今後の運営の参考にさせていただきます。



## 友朋会理念 「患者さまのために」

### 基本方針

1. 患者さま一人ひとりの立場になって、提供すべき医療・福祉を考え実践する
2. 愛情のある医療・看護・介護・リハビリ・福祉を実践する
3. 患者さまの退院支援・生活支援・就労支援において更なる向上を図る
4. 芸術療法を実践する
5. 治療空間としてアメニティーを重視する
6. 地域に必要とされる医療を実践する
7. 認知症への取り組みにおいて地域のリーダーとなれるよう努力する
8. 児童・思春期の精神医学分野においてその専門性を高める
9. 院内におけるチーム医療および地域の関係諸機関との連携を強化する
10. 医療従事者として自己研鑽に精励する

### 職業倫理に基づく行動指針

1. 患者さまの自己決定権を尊重する
2. 患者さまが自己の情報を知る権利を保障する
3. 患者さまがセカンドオピニオンを求める権利を保障する
4. 患者さまに安全で質の高い医療を提供することに最善を尽くす
5. 患者さまに医療的な説明を十分に行う
6. 患者さまに治療に関する同意を確実に得る
7. 患者さまの「基本的人権」を保障する
8. 患者さまの尊厳を保つ
9. 患者さまの終末期医療について理解を深め、その実践に努力する
10. 患者さまの個人情報を守る

# ふれあい看護体験開催

文：吉武克彦

平成22年7月29日(木)、ふれあい看護体験が開催されました。今回、参加された高校は武雄高校：8名、塩田工業高校：1名、嬉野高校：1名で、計10名の参加となりました。院内施設説明の後、院内の施設見学があり、皆友朋会の建物の雰囲気には驚かれています。

今回は病棟内の見学を介護療養型医療施設で行い、オリエンテーションの後、食事介助の様子を見学していただきました。食事の工夫や食事介助の難しさ等を感じていただいたようです。

午後からは、理学療法士より車椅子操作および移動介助体験を行っていただきました。車椅子に乗る事や操作する事が初めてであるという方も多く、「車椅子に乗る体験」と「車椅子に乗った方の介助をする体験」は様々な経験になったようです。

最後に血圧測定 脈拍測定 呼吸の測定などを参加者同士で行い、今回のふれあい看護体験を終えました。

全体を通して、「ふれあい看護体験を通して様々なことを体験しすごく将来の為になったと思います」や「今回の体験で看護師にしかできないことや役割があって、すごく看護師の重要さを感じることができました」など様々な感想があり、病院での仕事や看護師の仕事に対する理解や関心を高めることに繋がったのではないかと考えます。



車椅子操作体験



血圧・脈拍測定体験

## 😊 NEW FACE!



あしがみ すなお  
～跡上 直先生～

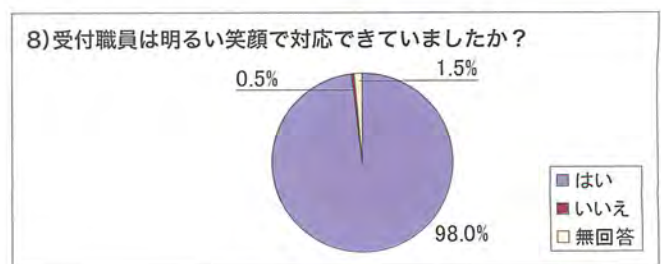
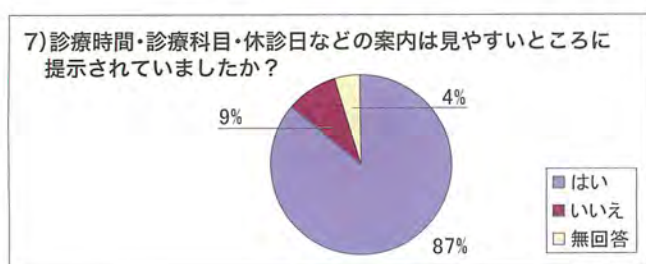
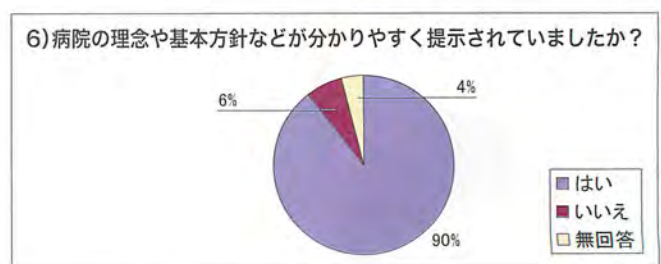
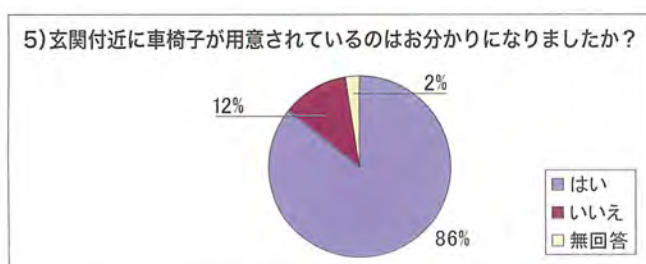
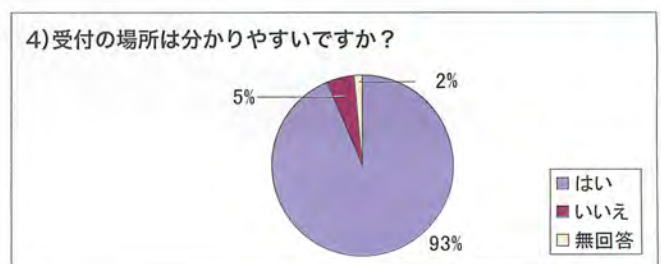
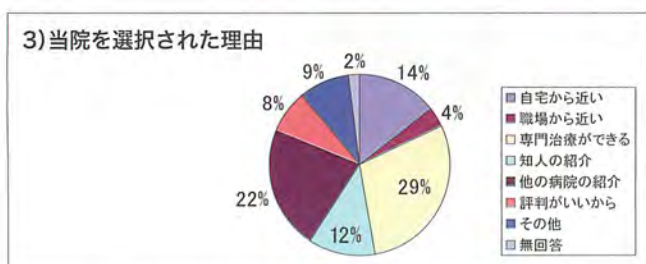
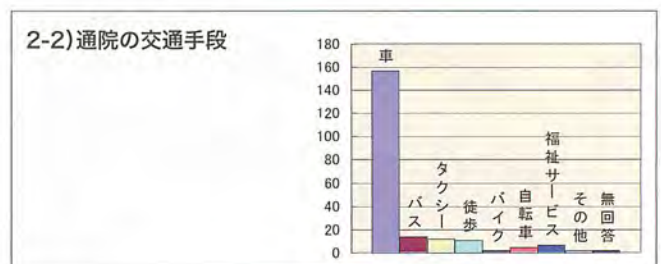
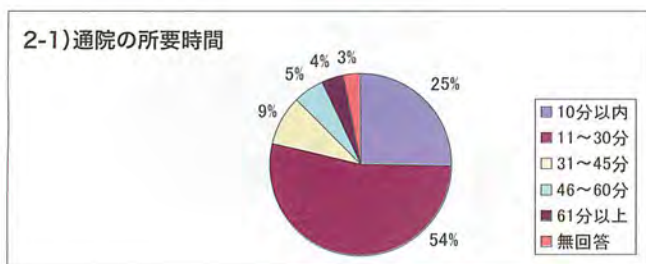
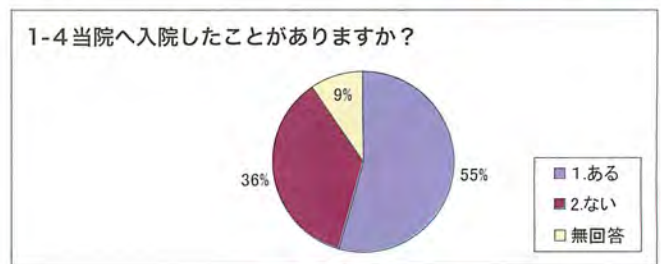
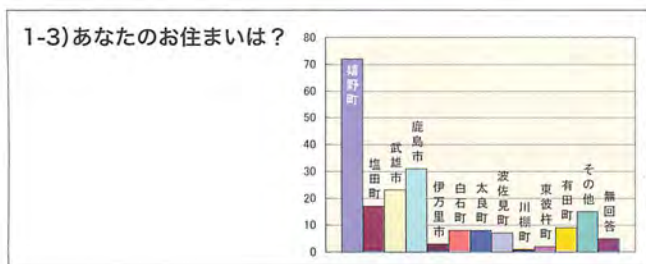
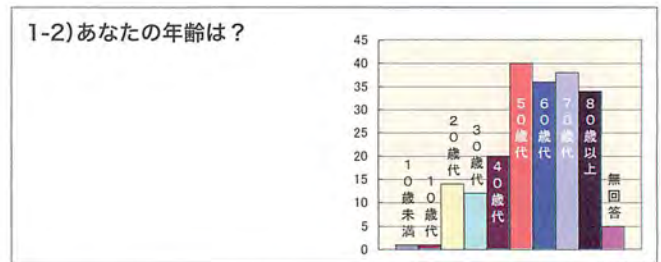
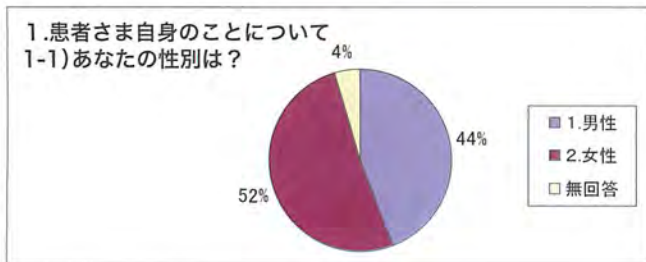
はじめまして、内科医の跡上と申します。平成18年から非常勤でお世話になりはじめて早や3年半の歳月が経ち、この度ご縁がありまして、この10月から常勤として勤務させて頂くことになりました。

これまでは血液細胞を機械で分類する検査の多少マニアックな領域の仕事に熱中して、長崎大学病院とその関連病院の内科に勤務していました。個人的な趣味は東洋思想的な書籍や「もの」に触れること、好きな言葉は老子の『上善は水の如し』です。銘酒が好きだからではありません(笑)、私自身はまったくの下戸で、お酒とは縁遠い人間です。

今後はこの風光明媚な嬉野の地で、微力ながらも病院のために、そして地域医療に少しでも役立てる仕事ができたら幸いです。これまでの経験を活かして、一医療人としてさらに精進してゆきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

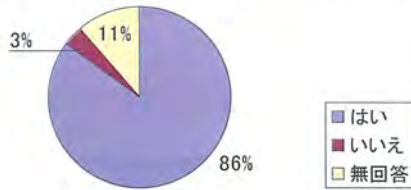
# 外来患者満足度調査の結果

平成22年7月1日～平成22年8月20日の1ヶ月半にわたり第9回目の患者満足度調査を実施し、201名の患者さまのご協力を得ることができました。アンケート結果は以下の通りでした。記述式でお答えいただいた内容については、個人情報保護法の観点から内容を省略させていただいております。

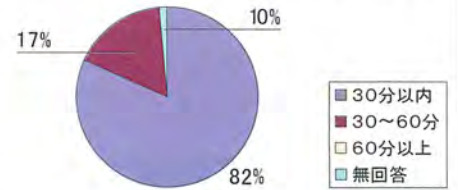




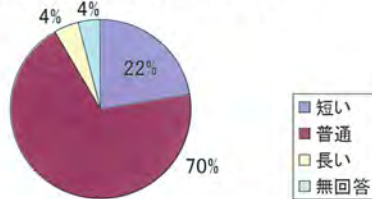
9-1) 待合室の新聞・雑誌などは、最新号と定期的に入れ替わっていますか？



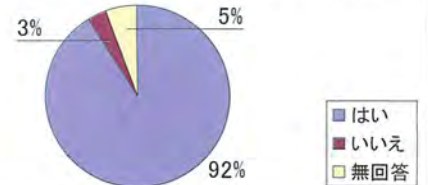
10-1) 受付してから診療までの待ち時間はどれくらいかかりましたか？



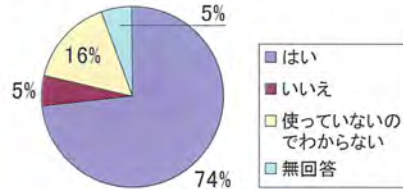
10-2) あなたの待ち時間はどのように感じられますか？



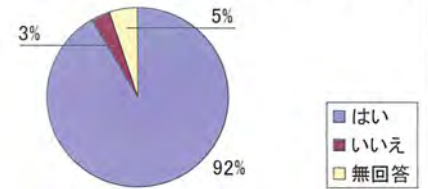
11) 職員は待合室で待つ患者さまに常に目配り、気配りができていましたか？



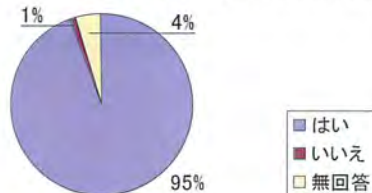
12) トイレは車いすの方でも不自由なく使える広さと設備になっていると思いますか？



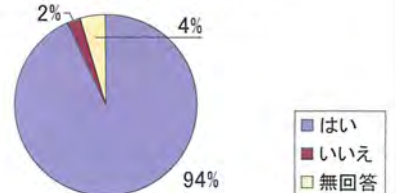
13) 検査や処置の前後に医師や看護師から十分な説明を受けられましたか？



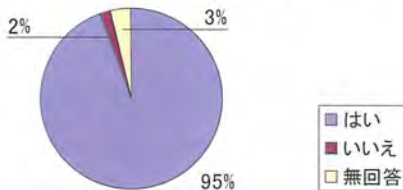
14) 診察中に患者さまのプライバシーは十分に配慮がなされていますか？



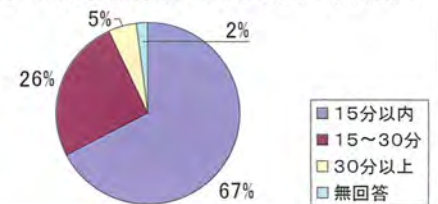
15) 満足いく治療・検査・訓練を受けられましたか？



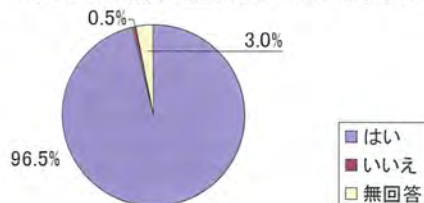
16) 医師や看護師に十分話を聞いてもらえましたか？



17) 診察終了より会計終了までの待ち時間はどれくらいかかりましたか？



18) 受付時からお帰りになるまでに職員の態度はよかったですか？



# 診療科の紹介及び診療担当医師一覧表

\*診療時間 ○月曜～金曜

○午前の部/8:30～12:30(第1土曜 8:30～12:30) ○午後の部/13:30～17:00

\*ただし、水曜、金曜の眼科外来は10:00より開始

\*休診日/第2・3・4・5土曜、日曜、祭日、年末2日、年始3日間

\*予約診療/待ち時間短縮のため、予約診療とさせていただきます。ただし、新患、急患の場合は随時受け付けます。

日曜診療は精神科第2、第4日曜の午前中に予約診療を行っています。

平成22年10月1日現在

診療科目		月	火	水	木	金	土	
精神科	(新患)	精神科一般	1 菅高	三根	谷口	富松	奥	担当医
			2 谷口	吉本	菅高	奥	富松	
		ものわすれ	1 吉本	松尾	田中	松尾	椎葉	
			2 中山	中山	谷口	田中	松尾	
	(再来)		富松	田中	中山	吉本	三根	予約者のみ
			松尾	谷口・椎葉 <small>(午後のみ)</small>	奥	中山	菅高	
内科		榎	木原	竹下	林原/岡本	岡本	非常勤医師	
泌尿器科		倉富	江原	倉富	江原	倉富	倉富	
眼科		崎戸(13時～)		崎戸(10時～)		崎戸(10時～)		
歯科外来		和智	和智	和智/山田	和智	和智	和智(第1AM)	

\*眼科の診療時間 ○月曜日 午後のみ13:00～17:00 ○水・金曜日 午前10:00～12:30 午後13:30～17:00

## 患者さまの権利宣言(一般科)

医療法人財団 友朋会 嬉野温泉病院

- 個人の尊厳を守る権利  
常にひとりの人間としての人格を尊重される権利があります。
- 公平で差別されない治療および対応を受ける権利。  
平等で差別されない治療および対応を受ける権利があります。  
治療で達成可能な最良の医療を受ける権利があります。
- インフォームド・コンセントと自己決定権  
治療・検査について、分かりやすい説明を受け、医療の内容を理解し同意した上で適切な治療および対応を受ける権利があります。  
自分の治療計画に参加し、自分の意見を表明し、自己決定できるようにサポート(援助)を受ける権利があります。
- 情報に関する権利  
当院で行なわれたご自身の診療に関する情報の提供を受ける権利があります。
- プライバシーの保護と秘密保持の権利  
医療の過程で得られた個人情報、秘密として遵守され患者さま・家族さまの承諾なしに開示されない権利があります。
- その他の権利  
退院後の地域における生活を見据えた治療計画が立てられ、それに基づく治療や福祉サービスを受ける権利があります。

入院中の患者さまは、適切な医療を受け、安心して治療・療養に専念することが出来るよう上記の権利を有しています。また、これらの権利が患者さま・家族さまおよび病院職員をはじめ全ての人々に十分に理解され、それが保障されることこそ患者さまの人権を尊重した医療を実現していく上で欠かせない重要なことであることをここに明らかにします。

## 患者さまの権利宣言(精神科)

医療法人財団 友朋会 嬉野温泉病院

- 常にどのようなときでも、個人として、その人格を尊重される権利  
暴力や虐待、無視、放置など非人間的な対応を受けない権利
- 自分が受ける治療について、分かりやすい説明を理解できるまで受ける権利  
自分が受けている治療について知る権利
- 一人ひとりの状態に応じた適切な治療及び対応を受ける権利  
不適切な治療及び対応を拒む権利
- 退院して地域での生活に戻っていくことを見据えた治療計画が立てられ、それに基づく治療や福祉サービスを受ける権利
- 自分の治療計画を立てる過程に参加し、自分の意見を表明し、自己決定できるようにサポート(援助)を受ける権利  
また、自分の意見を述べやすいように周りの雰囲気、対応が保障される権利
- 公平で差別されない治療及び対応を受ける権利  
必要な補助者等をつけて説明を受ける権利
- できる限り開放的な、明るい、清潔な、落ちつける環境で治療を受けることができる権利
- 自分の衣類等の私物を、自分の身の回りに安心して保管しておける権利
- 通信・面会を自由に行える権利
- 退院請求を行う権利及び治療・対応に対する不服申立てをする権利  
これらの権利を行使できるようサポート(援助)を受ける権利  
また、これらの請求や申立てをしたことによって不利に扱われない権利

入院中の患者さまは、適切な医療を受け、安心して治療に専念することが出来るよう、上記の権利を有しています。これらの権利が、患者さま本人および医療従事職員、家族さまをはじめ全ての人々に十分に理解され、それが保障されることこそ、患者さまの人権を尊重した安心してかかれる医療を実現していく上で、欠かせない重要なことであることをここに明らかにします。



## 医療法人財団 友朋会

〒843-0394  
佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙1919  
電話:0954-43-0157  
FAX:0954-43-3440  
E-mail: info@yuhokai.com  
URL: http://www.yuhokai.com/

- 嬉野温泉病院 0954-43-0157
  - 精神科デイケア・ナイトケアセンター 0954-43-0194
  - 老人デイケアセンター 0954-43-0233
  - 介護老人保健施設 朋寿苑 0954-42-2900
  - 友朋会介護サービスセンター 0954-20-2531
  - グループホーム 千寿荘 0954-43-0157
  - 授産施設「希望」 0954-43-0249
  - 地域連携室 0954-43-0255
  - 小規模多機能ホーム「孝心の里」 0954-43-7550
  - ものわすれメンタルクリニック 092-534-5151
- 〒815-0082 福岡市大橋2-19-20ピュアドームエレガント平尾3・4F